

神奈川県民協議会だより



区の木：こぶし

No. 19

編集・発行 神奈川県民協議会
事務局 神奈川県役所区政推進課内
神奈川県広台太田町3-8
電話：411-7021
Fax：314-8890



神奈川県民協議会は、「住みよい神奈川区のまちづくり」を目指して数部会に分かれ活動しています。各テーマについて調査研究を行い、必要に応じ現地調査等も行っています。

(神奈川県民協議会は略称を区民協としています)

<http://kanagawakumin.bakufu.org/>

平成27年度 「区民のつどい」 開催

区民協議会の活動の大きな柱である区民のつどい。今回は、第18期（1期2年）の1年目ですので、各部会活動の目指すところと、「地域のつどい」の結果などを分かりやすく紹介します。多くの区民の皆さまのご参加をお待ちしています。

第一部 第18期 神奈川県民協議会部会活動発表

第二部 減災に絶対必要な図上訓練やD I G訓練って何？ 参加型講演！ ご参加の皆さまも一緒にやってみましょう！！

～講演～ 講師 島田 恵氏

※D I G訓練とは、Disaster Imagination Game災害想定訓練のことです。

▲日時 6月27日（土）午後1時30分～3時45分（午後1時開場）

▲場所 神奈川公会堂

▲定員 400名（手話通訳付き）・・・参加される方は、当日直接会場へお越しください。

▲一時保育をご希望の場合は事務局への事前のご予約が必要です。

神奈川県民協議会に感謝状が！

平成27年1月10日出初式において、防災活動に寄与したとの理由から、神奈川県消防署長より感謝状をいただきました。

これも日頃からご協力を賜っております各連合様、各種団体様並びに、「地域のつどい」や「区民のつどい」等でご協力いただいた区民の皆さまのおかげとっております。この場をお借りし、皆さま方に心より御礼申し上げますとともに、今後の活動により一層力を入れてまいりますので、さらなるご協力をよろしくお願い申し上げます。



～情報の伝え方を考えます～

情報をやさしく伝える会

情報をやさしく伝える会は神奈川区民の皆さまと行政をつなぐ情報伝達について議論を重ねています。現在約23万人の神奈川区民は、区・市・県など関係先から日々膨大な区民生活に関する情報をほぼ一方通行で入手し、この情報を基に生活をしております。現在の情報の伝わり方は次の様に分類されます。

1. 紙媒体による提供

※連合会長会経由や市・県から町会長経由各家庭に配布回覧および掲示板に掲示

2. 電子媒体による提供

※身近な電子情報(神奈川区防犯情報メール、横浜市防災情報Eメール)

※ホームページ(区・市・県)

高齢化が進む中、若い年齢層にはスマートフォンなどの急速な発展に伴い情報の入手方法も多様化していることも現実であり、年齢層で大きなギャップがあることも事実でしょう。例えば人口の少ない過疎地帯は電子化による双方向の情報発信を行政が行い、安心安全体制を推進しているところもあります。

神奈川区における情報媒体について分析(現在の紙媒体・電子媒体の有効性、情報の緊急性の判断基準、情報に関する町会の役割、掲示板の在り方等)を行い、「やさしく簡単に情報を伝える」ことを考えます。

～様々なマナーやモラルについて考えます～

M・Mの会

M・Mの会(マナーとモラルを考える会)では、身近な公共の場や施設を住民が気持ちよく利用する上で、相手を敬いながら日常生活を営む中で、ごみ(不法投棄等)に関する問題や、交通マナー、放置自転車、公園などでの犬猫の糞の後始末など数多くの問題点があると考えています。

その中からごみの問題を取り上げ、収集日や分別方法についての周知徹底について、また、通りすがりのポイ捨て等の対策について考えていきます。そのために、ごみ出しのルールや規則、その違反に対する罰則等の問題点を学習します。

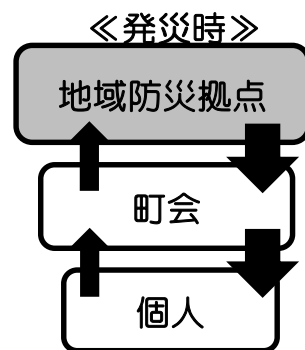
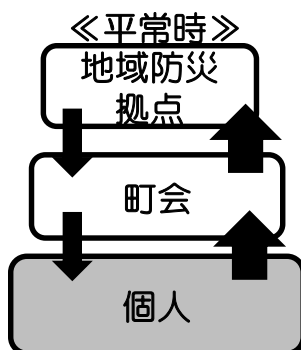
集積場所の管理は原則的に地域にあります。どうすれば集積場所や町、道路などの美観を保てるかについて考えていきたいと思えます。そのために資源循環局など関係先の協力を得るとともに町会の協力をいただきながら、収集する側とごみを出す側の問題点の実態を調査確認しながら取り組んでいきます。



～災害時の対応、防災・減災について考えます～

なまずの会

なまずの会は、平常時と発災時では「地域防災拠点」「町会」「個人」それぞれの役割の大きさが違ってくことに注目しています。そして、それぞれに「できること」「できないこと」があることを一人一人が十分に理解していないことに問題点があると考えています。平常時は個人の役割が一番大きく、次に町会、そして地域防災拠点という順番になります。いざ発災すると、地域防災拠点の役割が一番大きくなると思われます。役割の大きさは違ってきますが、当然のことながら、平常時、発災時ともに、「地域防災拠点」「町会」「個人」は単独に動くのではなく、密接な連携が求められます。まず、2年1期の1年目は、「地域防災拠点」について、「町会」や「個人」との連携部分も含めて考えていきたいと思えます。



二宮区長との懇談会開催

平成26年11月5日に区長との懇談会が開催されました。4月に新しい区長が着任され、第18期区民協議会との初顔合わせとなりました。区役所からは区長をはじめ、副区長や関係各部署の課長、係長等のご参加をいただき、区民協議会からは代表委員、各部会正副部会長が参加しました。

第18期は7月末に総会があり、部会活動を始めたのが8月からだったため、活動報告ではなく部会の目指すところ、今後の方向性について説明をし、その後質疑応答がなされました。「情報をやさしく伝える会」は地域への情報発信について、「M・Mの会」は、ごみ問題について、「なまずの会」は神奈川区に起こり得るすべての災害



事象について課題としていくことを説明しましたが、それらに関して区長から励ましの言葉等をいただきました。質疑応答時の質問に対しても真摯にご回答いただき、今後の部会活動の充実につながる良い機会となりました。

「地域のつどい」について

区民協議会は「地域のつどい」を開催し、地域の皆さまがお気づきの点について、その実態や改善案なども含め広くご意見をいただき、それらのご意見を基に活動テーマを設定しています。

平成26年度は、次の3地区で、「地域のつどい」が開催されました。

第1回：羽沢地区（平成26年11月22日、羽沢小学校、参加者48名）

第18期神奈川区民協議会第1回の「地域のつどい」が羽沢地区で行われました。羽沢地区の自治連合会は11の自治会町内会で構成されています。神奈川区での地区面積は1位で緑豊かな地域です。古くから続くキャベツ農家があり、横浜の野菜畑と言われています。現在はバスによる移動が主ですが、平成30年度以降「相鉄・JR直通線」と「相鉄・東急直通線」の2路線の開業が予定されています。そのためか最近マンションの建設が進んでいます。当日多数参加いただいた皆さまのご意見の一部を紹介します。①通学路の側溝の凸凹があり危険 ②通学時間に農道を走る車両があり危険 ③環状2号線の下、生活道路に駐車車両が1車線塞いでいる ④犬の糞の始末をしていない ⑤特に集合住宅の自治会町内会未加入問題 ⑥青パトを一部の地域ではなく、全体をパトロールしてほしい など、沢山のご意見をいただきました。

寒い中、羽沢地区の皆さま、ありがとうございました。



第2回：松見地区（平成26年12月5日、松見連合会館、参加者49名）

松見地区は、JR横浜線大口駅の北西、綱島街道との間に位置し、5,500世帯あまりが暮らしています。地域活動はとても盛んで、6月の福祉演芸大会、8月の盆踊り、11月のふるさと祭りを始め、年2回のグラウンドゴルフ大会と1年を通して様々なイベントが行われています。各町会、各種団体との連携、交流も活発な地域です。



当日参加の皆さまからは、①生ごみの減量やびん缶の捨て方について ②道路の角にある大木やどんぐりの実の問題 ③道路拡幅に伴いできる空き地に防災倉庫を ④保育園前が送迎の車で混雑、安全な駐車スペースを ⑤犬の糞や野良猫への餌やりなどマナーの問題 ⑥歩道上に置かれた植木鉢などが通行の妨げになっている ⑦LED防犯灯故障時、修理に2か月もかかった ⑧駅前自転車置き場の充実など、たくさんのご意見をいただきました。寒い夜の開催にもかかわらず、多数ご参加いただき、松見地区の皆さま、ありがとうございました。

第3回：神之木西寺尾地区（平成27年3月22日、神之木地区センター、参加者51名）

神之木西寺尾連合自治会は10の自治会町内会で構成されています。横浜線大口駅東口に位置して、総合病院、スーパー2か所、家電量販店などがあり買い物に便利で、近くの神の木公園は傾斜地公園で神奈川区の名園100選に選ばれたそうです。以前は沢山の企業がありましたが郊外に移転して現在はマンションと戸建ての混在する連合自治会です。当日多数の皆さまからいただいたご意見の一部を紹介します。

①高齢者などの個別ごみ収集の基準が厳しく緩和できないか ②神之木交番から内路までの道が狭く歩行者区分の道路標示が欲しい ③入江川公園にある津波警報放送が聞こえづらい ④感震ブレーカーの補助に行政はもっと力を入れて欲しい ⑤広域避難場所は地域に関係なく決めているのか、高齢者には遠い など、沢山の意見をいただきました。

日曜日にもかかわらず多数お集まりいただきました。神之木西寺尾地区の皆さまありがとうございました。



区民まつり出展（平成26年10月12日）

区民協議会として6度目の出展となる区民まつりは、台風19号の接近が心配されましたが、運よく、当日は晴天に恵まれ大盛況となりました。

今回も区民協議会をアピールするための小冊子配布と模擬店出店をしました。模擬店では、フランクフルトとたい焼きを販売しました。たい焼きは初の試みでしたが、大好評で昼過ぎには完売しました。また、フランクフルトも早々に売り切れました。当日参加した24人の委員全員が力と心を合せてPRと販売ができたことで、第18期1年目のメンバーの絆が深まった一日となりました。



施設見学会（首都圏外郭放水路・平成27年1月22日）



今回は、集中豪雨やゲリラ豪雨に対処するための防災施設を見学しました。この施設は、春日部市周辺の住宅地域への氾濫を防ぐために、洪水の一部を江戸川へ放流する施設で、平成14年から部分的に稼働し、毎年7回程度の洪水を防いでいるそうです。そのスケールはギネス級で、実際に116段の階段で地下に下りマンモス水槽にそびえる重量500tといわれる59本もの柱を目の当たりにした瞬間は、まさに巨大な地下神殿を彷彿させるもので、その光景には感嘆の声を上げてしまいました。この施設が、防災に関心のある人から非常に人気があるということが大いに理解できこれからもこのような施設整備が必要なのだと実感した大変有意義な1日でした。

神奈川県民協議会40周年！

代表委員挨拶（代表委員 澤 兼一郎）



昨年7月に始動した第18期も、早や2年1期の中盤を迎えようとしております。折しも区民協議会は昨年創立40周年を迎えました。創立当時市内14区に名称は異なりますが誕生した中の1つが神奈川県民協議会です。以来40年という誇るべき歴史を刻むことができましたことは、行政をはじめ連合町内会、各種団体、区民の皆さまのご理解ご支援、そして区民協議会を守っていただきました先達、先輩委員の皆さまのたゆまぬご尽力の賜物と心より感謝申し上げます。

第18期は3部会が立ち上がり、それぞれの部会が「地域のつどい」を通して、地域の皆さまが抱えている身近な諸問題をお聞かせいただき行政との橋渡しをし、安全・安心で住みよい街づくりに貢献できればと願って活動しているところでございます。

年1回の主催事業である「区民のつどい」は活動報告の場であり、社会情勢に対応したテーマ型に変わってきてまいりました。時代の変遷とともに、区民の気質も多様化してまいりますが、これからも未来を見据えて、行政とのパートナーシップを堅持し、地域と行政のパイプ役として、区民の皆さまに必要な存在であり続けたいと願っています。これからも変わらぬご理解、ご支援よろしくお願いいたします。

神奈川県民協議会は、昭和49年に発足し昨年40周年を迎えました。その間区民協議会の活動は、時代の要請とともに求められる役割や活動内容も変わってきています。その中で現在の区民協議会があるのは、代表をはじめ委員の皆さまがその時代に即した活動とするために様々な改善を重ねてこられた結果だと思っております。自主的な活動に基づき頂いた多くの貴重な提言は区政を運営するうえで大変参考になるものであり、とても心強く感じております。

今期は3つの部会があり、「情報をやさしく伝える会」では自治会町内会の掲示板のあり方等地域に伝わりやすい情報発信や地域での情報伝達の方法等について、「M・Mの会」では分別等のごみの出し方等のマナーやモラルについて、「なますの会」では平常時と発災時における防災拠点と自治会町内会の役割分担等について議論されています。いずれも区民の皆さまの活動に密着したテーマであり、6月27日の「区民のつどい」での活動の中間報告を心待ちにしております。

今期は3つの部会があり、「情報をやさしく伝える会」では自治会町内会の掲示板のあり方等地域に伝わりやすい情報発信や地域での情報伝達の方法等について、「M・Mの会」では分別等のごみの出し方等のマナーやモラルについて、「なますの会」では平常時と発災時における防災拠点と自治会町内会の役割分担等について議論されています。いずれも区民の皆さまの活動に密着したテーマであり、6月27日の「区民のつどい」での活動の中間報告を心待ちにしております。

今期は3つの部会があり、「情報をやさしく伝える会」では自治会町内会の掲示板のあり方等地域に伝わりやすい情報発信や地域での情報伝達の方法等について、「M・Mの会」では分別等のごみの出し方等のマナーやモラルについて、「なますの会」では平常時と発災時における防災拠点と自治会町内会の役割分担等について議論されています。いずれも区民の皆さまの活動に密着したテーマであり、6月27日の「区民のつどい」での活動の中間報告を心待ちにしております。

今期は3つの部会があり、「情報をやさしく伝える会」では自治会町内会の掲示板のあり方等地域に伝わりやすい情報発信や地域での情報伝達の方法等について、「M・Mの会」では分別等のごみの出し方等のマナーやモラルについて、「なますの会」では平常時と発災時における防災拠点と自治会町内会の役割分担等について議論されています。いずれも区民の皆さまの活動に密着したテーマであり、6月27日の「区民のつどい」での活動の中間報告を心待ちにしております。

今期は3つの部会があり、「情報をやさしく伝える会」では自治会町内会の掲示板のあり方等地域に伝わりやすい情報発信や地域での情報伝達の方法等について、「M・Mの会」では分別等のごみの出し方等のマナーやモラルについて、「なますの会」では平常時と発災時における防災拠点と自治会町内会の役割分担等について議論されています。いずれも区民の皆さまの活動に密着したテーマであり、6月27日の「区民のつどい」での活動の中間報告を心待ちにしております。

区長挨拶（区長 二宮 智美）



神奈川県民協議会は、昭和49年に発足し昨年40周年を迎えました。その間区民協議会の活動は、時代の要請とともに求められる役割や活動内容も変わってきています。その中で現在の区民協議会があるのは、代表をはじめ委員の皆さまがその時代に即した活動とするために様々な改善を重ねてこられた結果だと思っております。

自主的な活動に基づき頂いた多くの貴重な提言は区政を運営するうえで大変参考になるものであり、とても心強く感じております。

今期は3つの部会があり、「情報をやさしく伝える会」では自治会町内会の掲示板のあり方等地域に伝わりやすい情報発信や地域での情報伝達の方法等について、「M・Mの会」では分別等のごみの出し方等のマナーやモラルについて、「なますの会」では平常時と発災時における防災拠点と自治会町内会の役割分担等について議論されています。いずれも区民の皆さまの活動に密着したテーマであり、6月27日の「区民のつどい」での活動の中間報告を心待ちにしております。

今期は3つの部会があり、「情報をやさしく伝える会」では自治会町内会の掲示板のあり方等地域に伝わりやすい情報発信や地域での情報伝達の方法等について、「M・Mの会」では分別等のごみの出し方等のマナーやモラルについて、「なますの会」では平常時と発災時における防災拠点と自治会町内会の役割分担等について議論されています。いずれも区民の皆さまの活動に密着したテーマであり、6月27日の「区民のつどい」での活動の中間報告を心待ちにしております。